

令和5年度 千曲市男女共同参画計画審議会 要旨

日時:7月21日(金)10:00~11:40

場所:千曲市役所 3階 301 大会議室

全体進行:平原人権・男女共同参画課長

1 開 会 (平原人権・男女共同参画課長)

2 あいさつ (宮尾健康福祉部長)

3 自己紹介 (各委員、事務局)

4 千曲市男女共同参画計画審議会について (説明:事務局)

5 役員選出 (委員からの互選により決定)

会長 大澤 洋子 委員

副会長 霜鳥 光 委員

・会長、副会長は席移動および挨拶

6 協議事項 (議長:大澤会長)

(1) 第4次千曲市男女共同参画計画に基づく実施事業について

・令和4年度実施状況 (説明:事務局)

・令和5年度実施計画 (説明:事務局)

(2) その他

・意見、質問について

質問1) 第4次男女共同参画計画に記載のある市民意識調査について、今の男性は育児・家事をやっていると思うが、その割にデータには出てこない。育児・家事への参画の部分が遅れている原因は何か。どうして参画出来ないのか、男性が育児に参画しないのはどういうことなのか、それについて、ディスカッションをするのか、女性がもっと男性にけしかけてやっていくことを考えるのか、皆さんの意見を聞きたい。

回答) 原因は分かっていない。来年度、市民意識調査を実施する予定のため、その中で原因を追究していく。

質問2) 市民意識調査はどのような方法で行っているか。

回答) 全年齢を対象にランダムで送付している。

質問3) 市民意識調査は Yes・No 形式なのか、記述形式なのか。

回答) 質問の仕方はいろいろあるが、今後実施するにあたり検討していく。

意見1) 企業の管理職はほぼ男性であり、人材不足の中で、育児への参画や家庭の時間が取れなくなっている。「事業2-1-1 市内企業への啓発」とあるが、啓発をしても、行政・企業・学校で男性の働き方は異なっており、意識調査をする中でも、業種・業態によってかなり差が出ると思う。えるぼし・くるみんなどの制度は取るが、なかなか運営が出来ていないのが現状。管理職の方が育児への参加が出来かねている一方、若手の方は価値観が異なり、仕事よりプライベート重視のため、家庭への参画は叶っている。

また、「事業2-2-2 女性の就活応援講座」に女性というくくりで就職支援はあるが、男性のキャリアを考えていく重要性があっても男性のライフワークを考えていく機会が持っていないのが現状。市として、女性だけでなく男性のためのワークライフを考えていく必要があるのでは。

意見2) 市内中学生の職場体験学習について、中学生のうちから男女共同参画ということ自体を行政・学校が連携して行っていくことも重要ではないか。

質問4) 配布されたファイルに「千曲市は個性と能力を発揮できる活力ある男女共同参画社会を目指しています」とあるが、具体的な構想は。

回答) 第4次男女共同参画計画の2ページ目に記載の「基本理念」がその内容にあたる。

質問5) 男女共同参画セミナーで、ディスカッションが出来るような方策を考えていただきたい。家庭・職場・地域で意識を変えていくには、セミナーで学んで修了証が出て終わってしまうのではなく、もう一歩深めた方が良いと思うが、事務局での案・企画はあるか。

回答) 現在は、講師を招きテーマに沿って話していただく形になっており、ディスカッションやワークショップという形のものはいない。そういった方向性も考えていない。

意見3) 農林課の「かけはしの会」が、行政と市民との活動がとても上手くやれていると思う。食と農の文化伝承講座に参加して学んだ人たちが修了者としてかけはしの会に入り、活発に手広く活動されている。男女共同参画も、ひとり

ひとりが本気で学んで暮らしが良くなっていく感覚が得られるような活動にまで広がっていくと良いと思う。

また、静岡県の御牧ヶ原で「男女共同サロン」という活動が広まって、地域が変化していったところがあるので、参考にしてもらいたい。

意見4) 団体として市の審議会の委員を推薦するわけだが、推薦した人が団体の代表としての役割を果たしてもらっているのか心配があり、審議会の内容を団体に持ち帰って発表してもらう時間も取れず、悶々としていた。審議会の委員として、自信をもって大勢の前で話せるような勉強会をしたかったので、セミナーの内容に取り入れていただきたい。

意見5) 講座が多いのに、限られた人しか参加しておらず、参加して終わりという形ではもったいないと思う。せっかく男の料理教室などがあるので、そこに来られた方でチームやパパサークルを作るなどの補助金・施策などを行い、核になって進めてもらうと効果があるのではないか。

意見6) 自分のできることだけをやって役割分担が出来ていると思っていないでしょうか。男女で同じことが出来て、得意・不得意で分けているなら役割分担だと思う。大変なところを女性にやらせて、自分は簡単などころをやっているということすら分かっていないのは、役割分担ではない。

意見7) 10年後には男女共同参画ということ自体が無くなっていると思う。今は男子だから女子だからではなく、普通にできることをするというのが当たり前になっている。これから先、こういう議論をする場すら無くなってくる時代が来るのではないか。自営業者は働かないと会社が潰れるというところがあるが、公務員のようにバックアップがあれば、子育てや介護をやりたい人はいる。大企業や公務員だけでなく、自営業者も家庭に参画できる時代が来れば良いと思う。

意見8) 数年前に比べて、保育園選びにお父さんが関わっている家庭が増えてきた印象がある。ただ、保育園の送り迎えにお父さんが来ることはほぼ無い。行政の方から率先して、子どものお迎えに行けるような体制を作るなど、会社・職場からのサポートが必要だと思う。父母が協力していける体制を社会がバックアップしていけるようになれば、育児参加も可能になっていくのではないか。

意見9) 若い人たちは平等な生活になっているように思う。もう少し時間が経てば、男

女の不平等も無くなっていくのではないか。

意見10) 一番の根本は思いやりの心だと思う。異性同士に限らず、同性同士でも、お互いに相手のことを思いやれば、自分だけ楽をしようとは考えない。今の若い人たちは役割分担もせずにお互いにやっていると思う。

7 その他

・次回審議会の予定について（未定）

8 閉会（平等人権・男女共同参画課長）

※終了 11:40